

◇議会だより

# おおえ



2015.5.8  
No. 135

夢と希望のアーチをくぐって…

平成27年度予算 ..... ②  
特集 予算はどう使われる ..... ⑦  
町政を問う (一般質問) ..... ⑪

大江町議会基本条例を制定 ..... ⑱  
議員定数を削減! ..... ⑳  
私もひとこと ..... ㉔



# 新年度事業 クローズアップ

## 図書館併設 中央公民館建設

◆27年度 **6億2,860万円** ◆28年度 **2億8,270万円**

大江町中央公民館は、長く町民に親しまれる生涯学習の場として、また、図書館機能を併せ持つ施設として、27年度早期着工、28年度の早期完成を目指します。



## 公民館の建設に着手!!

このように生まれ変わります！ (外観パース)



◆一般会計 **53億3,100万円** ◆特別会計 **28億2,450万円**

**平成27年度予算**

◆水道事業会計 **4億2,975万円**

**総額 85億8,525万円**

(前年度対比10.3%増)

**地域おこし協力隊活動事業** ●1,136万円

七軒地区に2名を配置し、山里交流館の利用促進と七軒地区の活性化に活躍していただきます。また、本郷地区に1名を配置し、<sup>あおそ</sup>青亭を通した本郷地区の活性化に力を発揮していただきます。



地域おこし協力隊の報告会の様子

3月定例会は、3月4日から13日まで10日間の会期で開かれ、4議員による一般質問と、補正予算や新年度予算などについて審議を行いました。新年度予算は予算特別委員会を設置し詳細にわたり審議を実施。その結果、全議案について、全会一致で原案のとおり可決いたしました。

**住宅団地整備事業** ●1億2,633万円

藤田地区21区画を今年秋に分譲予定！  
1区画80坪程度で、1坪5万円台に設定しています。



**山里交流館施設管理運営事業費**

愛称『やまさあーべ』が4月1日 ●506万円  
にオープンしました。地域おこし協力隊2名を七軒地区に配置し、交流館を通して地区の活性化を図ります。





## 合併処理浄化槽設置補助金

- 5人槽56万円、
- 7人槽70万円の補助

● 2,123万円



合併処理浄化槽が設置される新築住宅

## 子育て支援医療費

● 2,924万円

子どもたちを健やかに育み、子どもを産み育てやすい環境を目指して、中学3年生までの医療費を無料とする。



## 新規就農者用住宅建設事業

● 2,373万円

- 大江町型住宅による建設費… 1,800万円
- 用地費…………… 360万円
- 設計監理費…………… 200万円
- 備品購入等…………… 13万円



平成26年度に新築された新規就農者用住宅

## 農機具等整備補助事業

● 440万円

認定農業者及び60歳以上の農業者に補助率1/3で限度額30万円。対象農機具は乗用草刈り機・高所作業車・くろぬり機・散布機等。



## 商売繁盛創出支援事業補助金

● 350万円

従来から行ってきた起業支援に加え、新商品開発や複数事業者の連携、共同の取り組みを支援します。



## やまがた地鶏食鳥処理施設整備事業

● 3,318万円

生産の部分で通年出荷が実現したため、次なる課題であるフレッシュ肉の供給実現に向け、山形地鶏に特化した食鳥処理施設を整備するものです。[設置場所は未定]

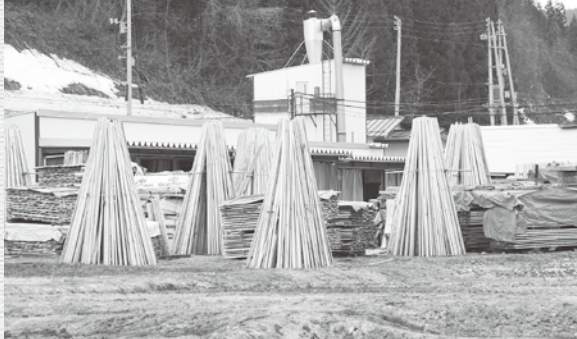




## 西山杉材利用促進事業費補助金

- ① 町内産西山杉材使用
  - ② 町内の製材所より納入
  - ③ 町内の建築業者より施工
- 最大で50万円補助(詳しくは建設水道課まで)

・150万円



## 道路新設・改良事業

・1億4,303万円

- ① 町道藤田堂屋敷線道路改良による用地補償費
- ② 町道葛沢カウカ原線道路改良工事請負費
- ③ 町道柏陵荘グランド線外舗装整備工事
- ④ 町道野口沢連絡線道路改良工事



道路改良が進捗中の町道藤田堂屋敷線

## 左沢高等学校支援補助金

・200万円

地元高校の存続のための支援対策としてJR左沢線で通学する生徒に定期券代の50%を補助します。



## 消防施設改良等工事費

・356万円

老朽化して危険な警鐘台を撤去する費用です。矢引沢地内・市の沢地内の警鐘台を撤去し、別の場所にサインポールを設置する予定です。



## さわやか健康づくり推進事業

・1,399万円

- 一般会計…………… 759万円
  - 国民健康保険特別会計…………… 640万円
- 町民の健康づくり推進と医療費抑制のため、40歳以上の町民を対象に、温泉入浴料の半額を助成します。



## 中学生海外派遣事業委託料

・663万円

今年度は生徒14名、引率者4名の計18名の予定。中学生のうちから国際感覚と異文化への理解力を身につけてもらうための事業です。





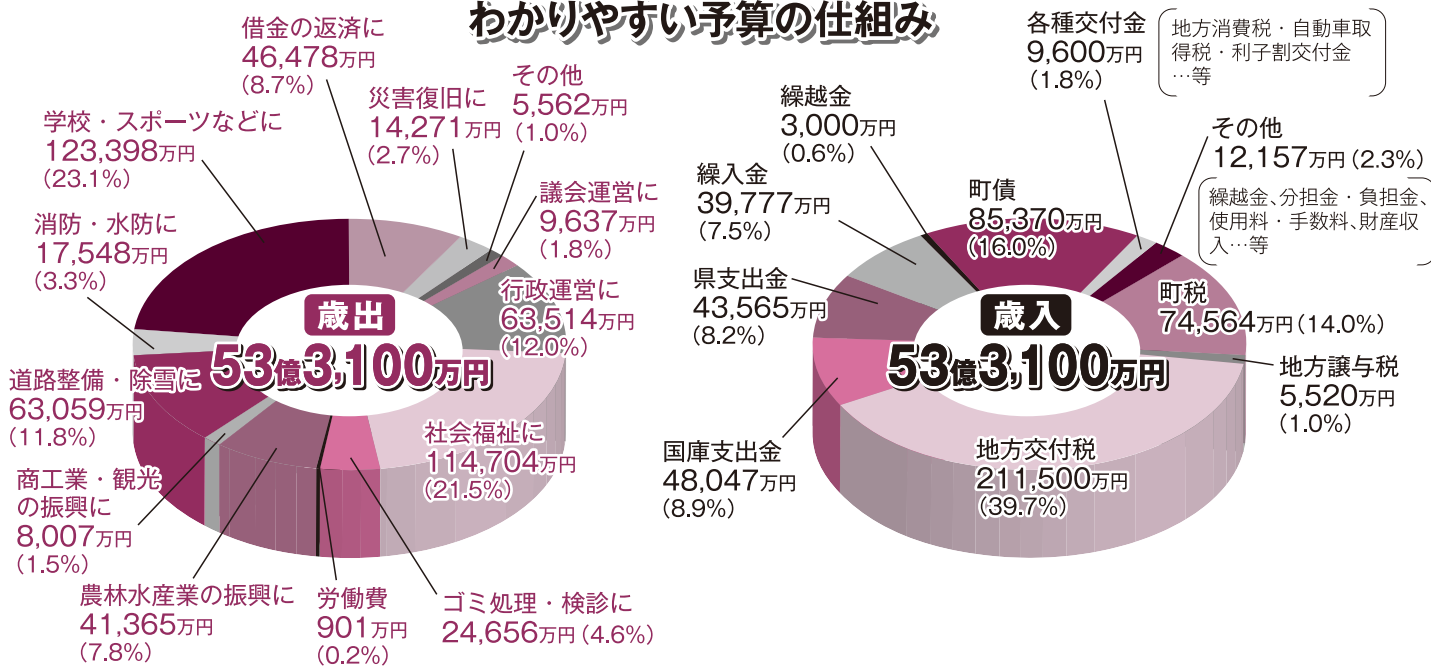
# 平成27年度予算

町を元気に

## 町単独の投資的事業費を大幅増加!!

### 一般会計予算の内訳

#### わかりやすい予算の仕組み



### 9会計総額

**85億8,525万円** (前年度対比10.3%増)

予算項目	予算の内容	予算額
1 一般会計	特別会計を除く全ての事業	53億3,100万円 (10.6%増)
2 特別会計(※)		28億2,450万円 (15.0%増)
(1) 国民健康保険特別会計	医療費と、町民の健康を守る事業等	10億1,460万円 (7.6%増)
(2) 後期高齢者医療特別会計	75歳以上の医療保険制度	9,520万円 (0.1%増)
(3) 介護保険特別会計	要介護高齢者へサービス提供等	11億1,410万円 (9.2%増)
(4) 宅地造成事業特別会計	新藤田地区住宅団地整備外	1億5,760万円 (65%増)
(5) 簡易水道事業特別会計(※)	飲料水供給事業(用、黒森、道海)	9,540万円 (835.3%増)
(6) 公共下水道事業特別会計	生活雑排水などの汚水処理事業	3億460万円 (22.3%増)
(7) 農業集落排水事業特別会計	生活雑排水などの汚水処理(伏熊、深沢、檜山)	4,300万円 (0.2%減)
3 水道事業会計		
収益的支出	浄水や給水などに要する費用	2億6,270万円 (0.3%減)
資本的支出	水道施設の整備に要する費用	1億6,705万円 (31.4%減)

※特別会計とは、一般会計に対して、特定事業などを別個に処理する会計。  
※簡易水道特別会計のアップは、用地区に紫外線処理装置設置工事を行うため。



# 特集 予算はどう 使われるのか

## 平成27年度予算特別委員会

平成27年度一般会計予算と特別会計予算審議は3日間の日程で開かれ、一般会計と7つの特別会計及び水道事業会計の9件が、原案の通り全会一致で可決されました。



安彦勉予算特別委員長

## 予算内容を問う

### 歳出

### 総務費

**菊地委員** 地域おこし協力隊賃金576万円とあるが何人体制の予定なのか。

**政策推進課長** 山里交流館に1人、七軒地区の資源や観光の活性化を担っていただく1人と本郷西地区の青芋や産直十八才の活性化に1人、計3人を予定している。

**宇津江委員** 七軒地区と本郷西地区の2人については、専門的な方を公募しては。

**政策推進課長** 七軒地区の方については条件を付けながら公募し面接をしており、本郷西地区の方は、青芋に興味を持った方をお願いしている。



本郷西地区の青芋畑の野焼き



人気メニューの青芋ご膳

**松田委員** 山里交流館の食事は自炊か。

**政策推進課長** 昔ながらの自炊を基本とするが、「さわらび会」の中で食事提供をしたという意見がある。

**松田委員** 駅前公有地の基本設計の具体的な方向性は。

**政策推進課長** 多年代交流施設等を描いているが、少し期間をおき、町の考え方を業者に示していきたい。

**布施委員** プロポーザル方式を考えているのか。

**町長** 夢があるもので、かつ、町

の活性化の一助にできればと考えている。

アンケートでは住宅の一部として活用するという意見が多いが、失敗しないよう、町民に迷惑をかけるないようにしたい。

**伊藤委員** 固定資産台帳作成委託料870万円は。

**総務課長** 町が所有する財産の台帳を整備し、複式簿記化に向け委託するものです。

**菊地委員** ふるさと納税に本腰を入れ、町ホームページを刷新してはどうか。

**政策推進課長** インターネットでの特産物やJA、商工会及び菓子組合などと連携し、特典を公表している。



ドラマ「おしん」関連の銘菓



**菊地委員** ふるさと納税システム

は、まさに「ここに暮らす喜び」

を皆が実感できる町に直結する重

要な事業だと思うが。

**政策推進課長** 町の特産物などを

巻き込んで取り組んでいる。



豊かな大地で育つたりんご

**古城委員** むらやま広域婚活事業

での成果は。

**政策推進課長** 県村山総合支庁が

中心となり意見交換会や婚活イベ

ントの開催をしており、カップル

は多くいると聞いているが、成婚

については把握していない。

## 民生費

**布施委員** 地域密着型施設整備事

業費補助金1千500万円とあるが、

事業会社名と施設の場所は。

**健康福祉課長** 本部が酒田市にあ

る「社会福祉法人さくら福祉会」

が左沢の天神前に建設する計画で、

1千500万円は県から町をとおして

交付される補助金です。

**布施委員** 雇用については。

**健康福祉課長** 介護職員を含め15

人程度であるが、人材不足の現状

の中、要望として町内からも確保

したい。

**結城委員** 今後、保育にかかる費

用負担軽減をどう考えるのか。

**健康福祉課長** できるだけ負担軽

減できるように取り組んでいく。

**安食委員** 福祉バスを町外の医療

機関まで運行できないか。

**健康福祉課長** 他の公共交通機関

を利用していただきたい。

**結城委員** 親と子どもが安心して

自由に遊べる場所が欲しいとの意

見が53%ある。

駅前公有地に遊べる施設を設置

しては。

**健康福祉課長** 検討していきたい。



親子で楽しく遊べる広場が欲しい

## 衛生費

**宇津江委員** さわやか健康づくり

推進事業補助金が昨年度と比較し

大幅に増えているのは。

**健康福祉課長** 40歳以上の方や糖

尿病、高血糖症などにかかってい

る方が対象で、利用者が増えてい

るためです。

**伊藤委員** 調査検証等委託料248万

円は。

**政策推進課長** 環境省の依頼で、

公共施設への木質バイオマスエネ

ルギーに関する調査費用です。

## 農林水産業費

**安食委員** 新規就農者に対する支

援金の一部を商工会で発行してい

る商品券にすることはできないか。

**農林課長** 関係者と協議してみま

す。

**結城委員** 再生可能エネルギー設

備補助金は何台分か。

**農林課長** ペレット及び薪ストー

ブ合わせて4基分を計上している。



大江町型住宅の薪ストーブ



**結城委員** 加温ストーブ等の開発は。

**農林課長** 商工会工業部会と共同し、2〜3基の試作を考案している。

**松田委員** 食鳥処理施設整備工事費1千950万円とあるが、施設場所と年間の処理数は。

**政策推進課長** 施設場所は検討中であり、処理数は2千200羽を予定している。

**宇津江委員** 生き物調査委託とは何の生き物か。

**政策推進課長** 平成26年度は町内に棲むカエルの生態調査をし、実績を取りまとめている。

**宇津江委員** 町内の動植物の生態調査を実施し、西川町大井沢にある自然博物館のようなものを山里交流館に陳列しては。  
**政策推進課長** 貴重な意見として検討していきたい。

### 商工費

**土田委員** 健康温泉館源泉水中ポンプ工事とは。

**政策推進課長** 現在、湯量が190L／分と少ないので地盤調査などを実施するものです。

**菊地委員** 災害がある度に観光ヤナの補修予算を計上している。今年度960万円である。

ヤナの魅力については。

**町長** 管理維持が難しいが、今回の予算処置をとって関係の方々と話していきたい。



観光ヤナのさらなる活用を

### 古城委員

クラシックカーイベントではパレードなどを企画し、町のPRにしています。

**政策推進課長** 10月4日に実施するが、観光物産協会や商店街の協力を得て検討したい。



昨年度のクラシックカーイベント

### 土木費

**宇津江委員** 町道認定外道路補助はどの場所に。

また、なじみにくい名称であり、町民に周知を図ることは。

**建設水道課長** 小見地区の農道1件で、工事費の8割を町で負担した。

今後、町民へわかりやすく説明したい。

### 消防費

**松田委員** 消防施設改良等工事費356万円は。

**総務課長** 1分団（市の沢）の警鐘台サイレン更新と4分団（矢引沢）の警鐘台を解体するものです。

### 教育費

**土田委員** 楯山公園整備工事の終了時期は。

**教育文化課長** 平成27年度で終了予定です。トイレ前の広場と国道458号線沿いに11台の駐車場の整備を予定している。



国道沿いに整備される駐車場予定地



**松田委員** 中央公民館建設費用が、当初計画の7億円から9億円近くに増加したのは。

**教育文化課長** プロポーザル方式で5社より応募を受けたときは、7億円前後の予定だったが、その後、建設面積の増加や資材、人件費等の上昇で8億9千800万円となった。

**松田委員** 2億円近い値上げは、設計も含め甘い計画ではなかったのか。

**町長** 当初、木材での建設と考えていたが結果的にできなかった。議員も含め町民各位にお詫びしたい。



新しく建設される中央公民館解体現場

## 災害復旧費

**安食委員** 現在残っている工事は、**建設水道課長** 平成26年度からの繰越工事が10件、27年度の工事8件を含め計18件です。



観光拠点として早期復旧が望まれる神通峡の歩道

## 総括質疑

**松田委員** 「道の駅おおえ」の駐車場が利用者数の割に狭く感じられる。

南側の田んぼ付近に拡大しては。また、トイレが汚いとの評判があり改善しては。

**政策推進課長** 南側の場所が狭いとの意見もあるので増設を検討していきたい。

建物は町管理、トイレ及び駐車場は県管理である。今回、施設のエアコンの修繕を必要とするが、トイレについても老朽化しており、改善を検討したい。

**宇津江委員** 駅前広場の公有地の利活用についての方向性は。

**町長** 行政側と議会の意見を議論しながら、利活用について整合性を図っていききたい。考えとしては他の真似事ではなく、独自の自主的な利活用を目指していきたい。

**宇津江委員** ふるさと納税や山里交流館「やまさあーべ」などの町ホームページの充実は。

**政策推進課長** 関係団体と職員が

連携し、充実した体制を取っている。

**伊藤委員** 木質バイオマス発電の取り組みは。

**農林課長** 木質だけではカロリーが低いので、間伐材や雑木などと汚水処理場から発生するガスを混焼して発電を上げる形で普及できれば良いと考えている。

**伊藤委員** 薪割り機械の補助金は。**町長** 再生可能エネルギーの補助金の項目に含んでいる。



山里交流館に積み上げられた薪





士田 勵一 議員

## 窓口サービスの向上を

町長

机、人員の配置を含めて  
サービスの向上を考えていく

**質問** 役場の事務処理は、パソコンなしには何もできず、パソコン操作に集中せざるを得ない状況にある。

現在の各課の机の並びは職員同士の対面形になっており、来庁された方からは、横向きなので気付かず、無愛想だと誤解されてしまう。パソコン操作中でも、「おはようございます」「こんにちは」「ご苦勞様です」「どんなご用でしょうか」と自然に声をかけられる環境になれば、町民の方も気持ち良く用を済ませることができ、役場のイメージアップにも繋がるものと思う。

大きな市で実施している「1ヶ所総合窓口」方式が理想だが、人件費等を考慮すると難しいと思われる。しかし、税務町民課と健康福祉課については、可能ならば、用事を伺う最前列の机だけでも出納室の受付のような対面式にすれば、声かけ、受付、

手続きと事務処理も円滑に進み、来庁者も気持ち良く用を済ませられると思うが。

**町長** 役場の耐震工事の時に作った壁で、机の配置が難しくなっていた。それでも机の配置は、職員が連携を取れるよう一つの島のように工夫をしているが、全部が対面方式にするスペースが取れない。3階までのエレベーターの設置や役場西口のスロープ設置を行いたい。原点到立ち帰って親切丁寧に行うのは基本。町民が役場に立ち寄った時に、良い思いをして短時間で所期の目的が果たせるように、庁舎内外の整備を含めて重大な仕事であると思



役場庁舎内風景

## 諸般の報告（議会）

昨年12月10日、大江西川両町議会議員協議会として、主要地方道大江西川線及び県道貫見間沢線早期の整備促進について、村山総合庁舎建設部長に対し、県知事始め県土整備部長など関係各位に対する要望を行いました。貫見工区の1号及び2号橋について、来年度中の供用開始も視野に入れて早期完成を目指したいとの話があり、県議会議員の鈴木正法氏、県議会議員の阿部賢一氏に対しても同様の要望を行ってきました。

昨年12月18日、朝日自然観において、大江朝日両町議会議員協議会総会及び研修会が開催され、両町の共通課題である①観光について②県道の整備促進③鳥獣被害防止対策④県立楯岡特別支援学校大江校について意見交換を行い、今後、県道中山三郷寒河江線、左沢浮島線整備促進の要望活動を行うことを決定。

本年2月17日、山形市の自治会館において「山形県町村議会議長会第66回定期総会」が開催され、平成26年度会務報告、平成27年度事業計画、収支予算等が審議可決されました。

## 町長からの

# 行政報告

\*大江町まち・ひと・しごと創生本部の設置

創生本部の設置

国が、人口減少に歯止めをかけるとともに、首都圏への人口集中を是正し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、昨年11月28日に「まち・ひと・しごと創生法」が策定されたのを受け、2月23日付けで「大江町まち・ひと・しごと創生本部」を設置しました。今後、創生本部において作業部会を設け素案作成に取り組みます。第三者機関として、仮称「大江町まち・ひと・しごと創生町民会議」設置を考えています。

**\*第2次大江町教育振興計画策定**

- ①「時代を生き抜く力を創る共生教育の推進」
- ②「生きがいと活力を創る生涯教育の推進」
- ③「うるおいと誇りを創る芸術文化と文化財保護の推進」
- ④「健康と元気を創る生涯スポーツの推進」の4つを基本目標とし、平成27年度～31年度の本町教育の中期的な方向性を示すものです。





松田 敏男 議員

## 新規就農者向け住宅の整備に 空き家活用を

町長 空き家等対策計画を策定し対処していく

**質問** 望山に建設された新規就農者住宅は「木の温もりが伝わり、こんな住宅に住みたい」といった声が大勢の人から聞かれた。

町には、新規就農者として8、9名の方が来町していることを考えた場合、これらの人が入居する住宅が不足しているのではないかと、今後の受け入れ態勢として、空き家を町が購入するか借り受け、リフォームし早期に提供すべきであると考えているか。

また、入居した方の家賃は、町民に不信感を抱かせぬよう、理解が得られるものにする必要がある。

**町長** 現在8名の方が来町している。三郷地区の2名を除けば、他の人の住宅について、今後、大江町型住宅として、各地区（本郷、七軒、三郷）へ建設していく。

空き家については、物件があれば年1戸ずつ買い取りしても、リフォーム代等は回収できるのではないか。



木の温もりが伝わる新規就農者住宅

建築材は民有林活用もある。

**農林課長** 望山の家賃は月5万円、新規就農者の方々の生活支援のため、家賃、光熱費に町から5万円を上限に補助している。

## 保育園統合後も 町が直営で運営を

町長 指定管理への移行で検討している

**質問** 少子化を伴うとは言え、2つの保育園を1つに統合せざるを得ないことは、町民にとっても寂しさを感じさせる。

全員協議会で、平成30年に2つの保育園を統合し、わかば保育園1ヶ所で運営する案が示された。町民からすれば、いろいろ意見があると思うが、時代の流れであり納得せざるを得ないと考えている。

統合後の運営母体について伺う。

**町長** 平成4年より、保育職員の採用は平成22年の1名のみである。

このことを考えれば、不本意であるが、指定管理への移行で検討していきたい。

**質問** 統合した場合、施設規模の拡大と職員体制はどの程度か。また、町民への周知についてはどうか。

**町長** 統合後は、入所児童、職員が増えることから保育室、職員室の拡充が必要である。



一つに統合される予定の保育園

町民への周知については27年度中に実施する。

**質問** 子どもは町の「宝」と町の子育て支援事業計画（5カ年）の策定でもうたわれている。保護者へのアンケートでも特に、町の運営と保育料に一番の関心を示している。どう考えるのか。

**町長** 保育サービスを低下させないよう、基準に基づき人員配置をしていきたい。





結城 岩太郎 議員

米価の下落対策をどう考えるのか  
町長

「需給と価格の安定」について国・関係機関に対し要望していく

**質問** 平成26年産米「はえぬき」を始めとし、60kgが1万円を下回る価格で、これまでになく超低水準の概算金となった。米価暴落の直接的な原因は、消費量の減少（消費者のコメ離れ）及び人口減少や在庫のだぶつき（いわゆる過剰米）によるものである。過剰米についてどう考えるのか。

**町長** 過剰米については、非常時の民間備蓄米と考えるのか、何をもって過剰米とするのか大変難しい問題である。

**質問** 主食である米の需給と価格の安定には国が責任を持つべきであり、その責任を果たすよう地方から声を上げなければならぬと考えるが。

**町長** 「米の需給と価格の安定」については、今後とも機会があるごとに国・関係機関に対し要望していく。



米価暴落した26年産米

**質問** 飼料用米等の経営所得安定対策制度についても、突然の政策変更により、現場で取り組むには全く準備が追いついていない。

国は、実態をきちんと直視した上で米の需給には責任を持つというメッセージを市場に発信し、早急に対策をとるべきと考えるが。

**町長** 根本的な農家の経営安定を考慮した施策の展開が必要と考える。

**質問** 厳しい現実を迎えている稲作経営農家に対し、本町独自の支援策はできないものか。

**町長** 土地改良事業に係る町単独補助の補助率及び限度額を改めることを検討している。

また、土地改良区の維持管理費に対する補助率の引き上げを図ってきた。

加えて、今回の補正予算において、米価下落対策米づくり補助金として10a当たり千円を計上した。

**質問** 農家に対する支援策の一環として、ふるさと納税者に対する地元特産品を提供するとか、生産者が生活の足しになって本町での生活が成り立つようなシステムを構築してはどうか。

これは、米に限らず果樹、野菜、山菜、工芸品等も同じく特典を開発し、ふるさと納税者に

還元していくということであるが、どのように考えるのか。

**町長** 今後の対応としては、ふるさとまちづくり寄付制度において、米や果物、農産物加工品等を季節の旬に応じてお返しする特典制度をスタートする予定であり、町内農産物等の消費拡大と農家所得の向上に努めていく。



特産のサンルージュも魅力ある特典に…





宇津江 雅人 議員

## 地方創生にどう取り組むのか

町長

町の実情に沿った戦略を策定していく

**質問** 内閣は、人口減少克服や地方創生のための「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、本格的な業務を開始しました。

これらを実現するために、全ての都道府県と市町村に平成28年3月までに、各地の実情に応じた「地方版総合戦略」作成の努力義務を課しました。

町としての対応策を伺う。

**町長** 「ひと」につながる「しごと」づくりによりソフト・ハード両面で迅速に対応していく。

**質問** 「地方版総合戦略」の作成にあたり、創生対策本部の設置と構成員は。

**町長** 2月23日に「大江町・ひと・しごと創生本部」を立ち上げた。

若い職員を含めた作業部会での検討、議会や町民の意見を踏まえ、町の実情に沿った総合戦略を策定していく。



地方創生に取り組む「やまさあーべ」スタッフ

**質問** 基本的な計画、立案をいつごろまで取りまとめるのか。

**町長** 遅くとも28年度予算編成作業に入るまで大枠を固めたい。

**質問** 計画に取り込むものとして、いる事業について伺う。

**町長** 「しごと」に関わる内容とか、出生率を上げるための結婚・出産・子育てに関わる内容を重点的に組み入れるほか、移住・定住対策や観光分野の強化について盛り込む必要があると考えている。

**質問** 現在の総合計画が平成32年までであることから、総合計画に焦点をあて「地方版総合戦略」を作成しては。

**町長** 国の方針は、町の総合戦略を真似しているような今さらという感じであり、国の基本が流行を追うのも大切だが、時々のごとが働くことには理解できない。町として独自の戦略を築きたい。

**質問** 先行型の26年度補正予算は5千400万円ほど計上され、地域の活性化に用途すると伺っているが、27年度において地方創生に関する補正予算が計上された場合の用途は。

**町長** 今後検討していくが、内容を精査し、示された補正予算を町の活性化のため十分に活用していく。

## 道徳教科化の取組みは

共生教育とも深くつながっており重要な要素と考える

**質問** 平成27年2月「道徳の時間」を「道徳の教科化」とする学習指導要領の改訂案を公表しました。

道徳の教科化に対する見解は。  
**教育長** 改訂される趣旨や内容をしっかりと受け止め、各学校に指導していく。

**質問** 現在、小中学校で行われている道徳授業の現状は。

**教育長** 学習指導要領で定められた年間35時間以上の授業を確保し、教材は文科省が配布した「わたしたちの道徳」、「山形県読み物資料」を活用している。

**質問** 道徳教育の果たしてきた役割と成果は。

**町長** 大きな成果をあげており、全国に比べ高い結果を示している。



左沢小学校で使用されている道徳の本



こんなことを決めました

平成26年度

補正予算

一般会計補正  
予算(第8号)

既定の歳入歳出予算の総額に8千540万円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額が52億5千90万円となりました。

◆主な歳入◆

○町税

・町民税法人税割(減額)

1千422万円

○地方交付税(追加)

5千211万円

○国庫支出金

・土木施設災害復旧費(追加)

603万円

・がんばる地域交付金 4千851万円

・地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金 5千497万円

・臨時福祉給付金事業費(減額)

649万円

○県支出金

・保険基盤安定負担金(追加)

424万円

○町債(減額)

6千910万円

予算用語の説明

○がんばる地域交付金とは

景気回復が波及していない財政力の弱い市町村に対し、地域活性化に取り組めるよう国が支援するもの。

○地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金とは

地域経済の好循環拡大に向けた緊急経済対策として、平成26年度補正予算(3月)により事業費を追加計上したものの、対象事業として、地域消費喚起・生活支援型と地域創生先行型がある。

○臨時福祉給付金事業費とは

平成26年4月から消費税が8%へ引き上げられたことに伴う、所得の低い方々の負担緩和のため、臨時的な措置として支給するもの。

○保険基盤安定負担金とは

低所得者に対する国民健康保険の保険税軽減分等を公費で負担することにより、市町村国保財政基盤の安定に資することを目的に国県から交付されるもの。

◆主な歳出◆

総務費

7千374万円の増額です。

・町有施設整備基金(追加)

2千958万円

(新しい中央公民館建設に使用します)

・デマンド型タクシー運行委託料(追加) 585万円



高齢者に人気があるデマンドタクシー

・山里交流館指定管理料600万円(事務職員2人の人件費と水道・光熱費)

・空き家改修工事費 630万円

・土地購入費 850万円

(左沢地内の空き家を購入及び改修し、中心市街地活性化施設として活用する)



左沢地内の空き家

・景観づくり基金 1千万円(景観保全及び形成を図る基金を設置する)



## 民生費

832万円の増額です。

・障害福祉サービス費（追加）

540万円

（障害者の就労支援のための通所費のほか、利用者が増加したため）

・いきいき子育て支援事業費補助金（追加）

638万円

（27年度から子ども3人目の保育料を無料とするため、34人分を見込んだ）

・子育て支援医療費（追加）

（中学生以下の医療費が増えたため）

## 農林水産業費

1千216万円の増加です。

・戦略的園芸産地拡大支援事業費補助金（追加）

472万円

（農家2人にスピードスプレーヤー2台購入時、補助する）

・新規就農者家賃等補助金（追加）

360万円

（新規就農者6人の家賃4万円、光熱費1万円を年間補助する）

・米価下落対策米づくり補助金

（10aあたり、千円を補助する）

256万円

## 商工費

1千934万円の増加です。

・プレミアム付き商品券発行事業補助金

1千730万円

（商工会が販売する商品券への補助金）



日本一くんプレミアム付き商品券

・中心商店街販売促進事業補助金（追加）

370万円

（500円ごとに抽選券を付与する宝くじ事業の景品代）

・観光情報発信事業委託料（追加）

308万円

（人件費、観光パンフレット、のぼり旗等の作成等）

## 土木費

624万円の減額です。

・町道改良及び舗装工事費（減）

2千75万円

（小堀製作所前の工事費の減）

・町道改良工事負担金1千518万円（藤田住宅団地の道路）

・住宅建築奨励事業補助金（追加）

239万円

（リフォーム32件、内新築4件と申し込みが多かったため）

## 消防費

242万円の減額です。

・消耗品費（追加）

119万円

（水防用ライフジャケットと消防団防火衣の購入）

## 教育費

165万円の減額です。

・放課後子ども教室報酬（減）

111万円

（小学生4年から6年生の参加者が少なくなったため）

**国民健康保険  
特別会計補正予算(第2号)**

1千444万円を減額し、補正後の予算は9億4千819万円となりました。

**後期高齢者  
医療特別会計補正予算(第2号)**

129万円を減額し、補正後の予算は9千546万円となりました。

**介護保険  
特別会計補正予算(第3号)**

327万円を追加し、補正後の予算は10億4千704万円となりました。

**宅地造成事業  
特別会計補正予算(第3号)**

2千854万円を追加し、補正後の予算は1億2千898万円となりました。



**簡易水道事業  
特別会計補正予算(第1号)**

90万円を減額し、補正後の予算は930万円となりました。

**公共下水道事業  
特別会計補正予算(第2号)**

5万円を減額し、補正後の予算は2億4千720万円となりました。

**農業集落排水事業  
特別会計補正予算(第1号)**

3万円を減額し、補正後の予算は4千307万円となりました。

**水道事業  
会計補正予算(第2号)**

収益収入は184万円の減額で2億6千176万円となり、収益的支出は184万円の減額になりました。  
資本的収入は4千516万円の減額で1億2千749万円となり、資本的支出は433万円の減額で2億4千710万円になりました。

**◆補正予算の主な質疑◆**

**土田議員** いきいき子育て支援事業費補助金は一括支払いなのか。  
**健康福祉課長** 年度末に一括して支払いますが、平成27年度からは前期、後期に分けて支払うよう検討していく。



子どもは町の「宝」

**古城議員** デマンド型タクシー運行委託料585万円の追加は。  
**政策推進課長** 利用客が多く、地域創生先行型交付金を前倒して使用するものです。

**松田議員** 空き家改修補助金140万円は。またどの空き家か。  
**政策推進課長** 地域づくり研究の大学生等に、空き家を改修し入居していたための補助金。  
左沢地域にある空き家です。

**松田議員** これを機会に波及効果はあるのか。  
**政策推進課長** モデル的に行い、その後に課題を洗い出していきたい。

**布施議員** 緊急通報体制整備事業委託料(減)は。  
**健康福祉課長** 入札の結果によるもので、利用者を50人と見込んでいたが、3月6日現在45人となっている。



緊急通報体制が整備されたことを示すステッカー

**宇津江議員** 住宅建築奨励事業補助金(追加)239万円は。  
**建設水道課長** 新築4件、住宅のリフォーム等合わせて32件と予定より申し込みが多かったため。

**安食議員** 本郷東小から放課後児童クラブに行く送迎支援は、いつまで続くのか。

**健康福祉課長** 本郷東小学区内に放課後児童クラブの整備を計画しているため、平成28年度まで予定している。



本郷東小の理科授業

**専決処分  
2件**

**平成26年度一般会計補正予算(第6号)**

- ・灯油等購入費助成事業費190万円
- ・低所得者・65歳以上世帯に限度額5千円を助成する。

**平成26年度一般会計補正予算(第7号)**

- ・除雪費2千350万円
- ・委託料1千800万円・燃料費・修繕費・除雪運転手賃金等。



# 大江町議会活性化検討特別委員会報告

本特別委員会は、平成25年第4回（12月）定例会において、議長を除く10名の委員により構成する特別委員会を設置して、これまで調査検討を行ってまいりました。

検討にあたっては、先進地から学ぶため大石田町議会における議会活性化の取り組みについて調査を行ったほか、検討項目が多岐にわたることから、2つの小委員会を設置し、それぞれの小委員会が個別事項について調査検討を行った後に、全員による特別委員会で検討する形で進めてきました。

第1小委員会においては5回に亘って、議会活動等、議会及び議員としての役割の明確化や、地方自治法第96条第2項に基づく議決事件の項目などについて、第2小委員会では町民に開かれた議会運営、議会審議の活性化などについて5回に亘って調査検討を行ったところであります。その結果、平成25年9月議会の副議長選挙における「所信表明会」の実施や、昨年11月には議会として初めて「町民と議員との対話のつどい」を開催したほか、区長会など各種団体・委員会との積極的な懇談会の開催、そして、それらを通じての「町政への提言書」の提出など、議会として、町民との接点を大事にしながらこれまで進めてきたところでありました。

## 主な内容

### 1 「町民の負託に応えうる開かれた透明感のある議会活動について」

議会の役割を認識し、町民の負託に応え、町

民参加を基本とした住民自治にふさわしい議会運営を図り、もって本町の持続的で豊かな町づくりを実現するために、議会及び議員活動の最高規範としての「議会基本条例」を制定することとしました。

また、地方自治法に基づく議決事件の拡大、町民と議員との語る会の開催並びに町民の意見をもとにした町政への提言活動、議会活動を知ってもらうための模擬議会の開催など、開かれた議会運営を行うこととしております。

### 2 「議会運営の活性化」

議員間の自由かつ達な討議を通じ、政策提言等により、積極的にまちづくりに参画するほか、議長及び副議長選挙における「所信表明会」を実施しました。

### 3 「議員定数・報酬」

町民の意見を細やかに町政に反映していくためには、現行の議員定数を維持すべきという意見もありましたが、他市町村の定数削減の状況や町民の意見等を踏まえ、定数を現行の12名から1名削減し、11名とするという意見が多数を占めました。

また、議員報酬については、議会に若い人が出やすい環境を整えるべきという意見もありましたが、当面は現状維持とすべきとの結果となりました。

### 4 「議会及び議員資質の向上」

議会及び議員として、議会審議や調査活動を通じて、町民の声を反映した安全安心なまち

づくりの実現など、自らが政策立案能力や資質の向上を図るため、不断の研鑽に努めることとしました。

### 5 「事務局体制の強化」

議会及び議員としての政策立案能力の向上などのために事務局体制の充実を図ることとしました。

### 6 「その他の項目」

病気等により長期に亘り議員活動を休止している議員の「議員報酬及び期末手当」について、減額する条例を議員発議として提出することとしたほか、政務活動費についても、使途についての説明責任を果たすために、議長が指名する委員による使途審査会を設置し調査を実施しているほか、使途基準の明確化を図るため、「政務活動費の手引き」を作成いたしました。

### 7 「議会活性化に向けた今後の取組み及び見直し」

地方自治体を取り巻く状況は、本町においても少子高齢化が大きな課題となっているほか、安全で安心して住み続けられるまちづくりに向けて様々な課題が山積しています。

このことから議会としても、普段から国・県始め町政の動向を注視しながら、町民に軸足を置いた議会及び議員活動を行うことが、今後とも最も大事であることから、日頃から議会活性化に向けた検討を行うこととしたところであります。

以上「議会活性化検討特別委員会の検討結果」について、報告いたします。



# 大江町議会基本条例を制定

地方自治の本来の力を高め、町民の  
負託に応え続ける議会を目指して!!

平成27年4月1日施行

平成25年第4回（12月）定例会以来、2カ  
年にわたり検討してきた議会基本条例が、平  
成27年第1回（3月）定例会で全会一致で可  
決され、同年4月1日から施行されました。

議会基本条例の制定を機に、自らの果たす  
べき役割や責務を改めて自覚するとともに、  
本条例を今後の議会運営の礎とし、言論の府  
として活発な議論を重ねながら、町民の皆さ  
んの負託に応え続ける町議会の実現に取り組  
んでいきます。

## 条例の目的

本町議会の基本理念を明らかにし、議会の  
役割や運営原則、議員の責務と活動原則、議  
会と町長その他の執行機関との関係、議会と  
町民との関係等の、議会に関する基本事項を  
定めた今後の議会運営の礎となるものです。

## Q 議会基本条例がなぜ必要なのか

全国的な人口減少が急激に進む中、地方公  
共団体の持続的な発展を図るためには、自主

性及び自立性を発揮した地方の創生が喫緊の  
課題です。

本町議会でも、これまでの議会改革の取り  
組みを一層推進し、更なる議会の機能強化を  
図るなど、地方自治の本来の力を高めていく  
議会運営が重要です。

そのため、これまで明文化されていない議  
会に関する基本的事項を条例で定め、今後の  
議会活動に対する決意を示す必要があります。

## Q 議会基本条例ができる何が変わるのか

議会活動に対する町民の皆さんの理解が深  
まり、本条例に基づき、議会の役割や議員の  
責務を的確に果たすことで、町民の皆さんの  
負託に応え、未来に希望を持ち幸せを実感で  
きる大江町の実現に寄与すると考えています。

## 条例の内容

- 第1条（目的）
- 第2条（議会の活動原則）
- 第3条（議員の活動原則）
- 第4条（町民参加及び町民との連携）
- 第5条（議会と執行機関の長との関係）
- 第6条（地方自治法第96条第2項の議決事項）
- 第7条（自由討議の保障）
- 第8条（議員研修の充実強化）
- 第9条（議会事務局体制の整備）
- 第10条（議会広報活動の充実）
- 第11条（最高規範性）
- 第12条（議会及び議員の責務）

第13条（見直し手続）  
第14条（委任）



可憐に咲く大山公園のヒメサユリ

## 議会からのお知らせ

平成27年第二回臨時会  
を開催します。

5月13日(水)午前10時より、大江町  
議会臨時会を開催する予定です。

ぜひ傍聴においでください。

※詳しくは議会事務局

☎6212228まで

☆条例の内容については、大江町議会ホームページをご覧ください。

大江町議会

検索



# 議員発議

## 発議第1号

### 大江町議会基本条例の制定

提出者 議会活性化検討特別委員会委員長

古城 紀夫

#### 提案理由

議会は町民を代表する合議制の機関として、積極的に議会改革に取り組み、議会及び議員の活動原則を定めるとともに、積極的な情報公開による開かれた議会及び町民から信頼される議会を目指し、議会運営の基本的な事項を定め、大江町の持続的で豊かなまちづくりの実現に寄与するため、提案するものである。審議の結果、原案のとおり全会一致で可決しました。平成27年4月1日より施行

## 発議第2号

### 大江町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定

提出者 議会活性化検討特別委員会委員長

古城 紀夫

#### 提案理由

議員の職責を果たし議会への住民の信頼を保持するため、議員が長期に亘って議員活動ができない場合に、当該議員の報酬及び期末手当の支給について減額する特例を定めるため、提案するものである。

審議の結果、原案のとおり全会一致で可決

しました。

平成27年4月1日より施行

## 発議第3号

### 大江町議会委員会条例の一部改正

提出者 議会運営委員会委員長

伊藤 慎一郎

#### 提案理由

教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者（新教育長）を置くことなどを内容とする法律の一部が改正されたため、提案するものである。

審議の結果、原案のとおり全会一致で可決しました。平成27年4月1日より施行

**議員定数を削減!**  
12人から1人削減し、11人とする  
賛成多数で可決しました。

## 発議第4号

### 大江町議会議員定数条例の一部改正

提出者 布施 正昭

賛成者 土田 勵一

同 結城岩太郎

同 古城 紀夫

同 安彦 勉

同 宇津江雅人

同 安食 幸治

#### 提案理由

定数問題については、区長会や町民と議員

との語る会で議員定数を削減すべきであるとの声や、近隣市町が定数削減を実施している社会背景を考慮し検討する必要があります。

また、全国町村議会実態調査から、県内町村の議員定数の状況を鑑みると、人口5千人〜1万人規模については西川町10人、朝日町12人、大石田町10人、舟形町10人、真室川町11人となっており、県内市町村の議員定数に関する動向、バランス等も考慮しなければなりません。

これまで、議会として1人欠員の中で、議員1人1人が責任を分かち合いながら活動してきたことも事実であります。

総合的に判断し、現在の議員定数12人から1人削減し、11人とする条例改正案を提案するものであります。

## 質疑

**菊地勝秀 議員** 定数人数に異議を唱えるものではないが、2回の委員会で結論を出すことには賛同できません。

1 「議員定数」をどのように把握しているのか。

2 提案の要因はどのようなものか。

3 定数削減のメリットとデメリットは。

**布施正昭 議員** 町民の声を聞き、議会活性化特別検討委員会の中で、何回も検討してきた結果であり、長々と時間をかけるのも良くない

いと考える。

結果の集約については、委員長が報告したとおりである。

議員の意見では、定数12人、11人、10人とまちまちの意見があり、メリット及びデメリットについては、さまざまな議論がある中で、11人に歩み寄った。

**菊地勝秀 議員** 定数削減は、地域民主主義の根幹に関わることです。

住民の多様なニーズに応えられなくなります。行政と議会は両輪のごとく遂行できるのか。

**布施正昭 議員** 削減については、検討委員会の中で行政の監視機能が低下するとか、人口が少ない地域から出にくくなり町政に声が届かないなどの意見があったが、現在、11人で議会活動を遂行しており、1人1人、一生懸命やれば支障はないと考え1人削減するものである。

**菊地勝秀 議員** 議員1人あたりの有権者数は、県内22町村の中で9番目です。

布施議員はごく最近まで「この件については、そう簡単なことではない、時間をかけて議論することが大切だ」と言っておりましてが…。

**布施正昭 議員** 地方分権の中で、議員の重要性が叫ばれる時期にきている。

町民の意見をどうとらえ判断し、反映する

のかが重要な問題となっている。

**松田敏男 議員** 町民と語る会で深沢、原田地区では定員削減の話はなかった。

逆に議員の質と内容が問われ、現状の12人の定数で頑張れとの意見があった。

**布施正昭 議員** 最終的に議論を尽くした結果、委員長が報告したことを大事にしたい。

**伊藤慎一郎 議員** 審議や採決をするのに少なくとも良いのか。また、削減して議会の活性化にはなるのか。

議員講習会では、常任委員会は5人では少なく7人でないとダメという講師の話だった。

**布施正昭 議員** これまで、議会や常任委員会では11人で責任を分かち合いながら職務を遂行してきた。

問題はないと考える。

## 討論

### ● 条例に賛成の立場から

**宇津江雅人 議員** 3年前の議員の不祥事事件などから、議員の質が問われている。

町民の声を反映させ、また、委員会の最低構成人数を考慮し、1人削減の11人が適当と考える。

**結城岩太郎 議員** 定数削減すべきという町民

の声が多い。

また、近隣市町が削減の方向に傾いている現状とのバランスを考慮し、町民の負託に応える必要がある。

これまで3年間議会運営を実施してきたが、議会活動には支障はなかった。

**土田勵一 議員** 過去の議員の事件から11人で議会運営を実施してきたが、町民の感情から、定数12人に戻すことは無理と考える。

人口減少とか社会環境から、2人減の定数10人と考えていたが11人に歩み寄った。

▼ 条例に反対の立場から ▲  
発言者なし。



議員11名で町民の声に応える議会を



# 条例の制定・改正・廃止

制定6件、改正10件、廃止1件が全会一致により可決されました。

## 主な条例の制定

### 議第3号 大江町景観づくり基金条例の制定

本町の景観保全及び景観形成を図る大江町景観づくり基金を設置するため、条例で定めるものです。（目標金額は5,000万円）

### 議第7号 大江町重要文化的景観整備事業受益者分担金徴収条例の制定

町が実施する重要文化的景観整備事業において、当該事業に必要な費用に充てるために受益者から徴収する分担金に関し、定めるものです。

## 経費負担区分

○重要文化的景観の構成要素となる物件の復旧修理及び修景等整備事業

国 (補助対象事業費の5/10)	県 (補助対象事業費の2.5/10・限度額500万円)	受益者 (補助対象事業費の2.5/10)
---------------------	--------------------------------	-------------------------

○左記のうち大江町景観条例に基づき指定された景観重要建造物の整備事業

国 (補助対象事業費の5/10)	県 (補助対象事業費の2.5/10・限度額500万円)	町 (補助対象事業費の1.5/10)	受益者 (補助対象事業費の1/10)
---------------------	--------------------------------	-----------------------	-----------------------

## 新たに制定された条例

	条 例
議第4号	大江町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例
議第5号	大江町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例
議第6号	大江町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例
議第8号	大江町教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例

## 条例の一部改正

議第9号	大江町職員定数条例
議第10号	大江町職員の勤務時間、休暇等に関する条例
議第11号	大江町特別職に属する者等の旅費、費用弁償及び実費弁償に関する条例
議第12号	大江町特別職に属する者の給与に関する条例
議第13号	大江町行政手続条例
議第14号	大江町一般職の職員の給与に関する条例
議第15号	大江町介護保険条例
議第16号	大江町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例
議第17号	大江町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例
議第18号	大江町道路占用料徴収条例

## 条例の廃止

議第19号	大江町教育長の勤務条件に関する条例
-------	-------------------



整備に向け測量設計される清野家（左沢原町）



家屋の外壁が整備される上田家（左沢横町）

です。まとめたものと提言書を町政に届け、町民の意見を行政運営のさらなる充実につなげてほしいと提言書を提出しました。



議会から町への提言書を提出

で「町民と議員との対話のついでに、昨年11月に町内4カ所を「町民と議員との対話のついでに」を開催し、町民の意見を町政に届け、行政運営のさらなる充実につなげてほしいと提言書を提出しました。

一、バイオマス発電など事例を参考にした林業の活性化

一、農作物の鳥獣被害について効果的で実行可能な対策

一、左沢高の存続に向けた支援強化

これは、昨年11月に町内4カ所で「町民と議員との対話のついでに」を開催し、町民の意見を町政に届け、行政運営のさらなる充実につなげてほしいと提言書を提出しました。

## 提言書の内容

一、空き家の解体費用への補助金

一、若者が地元で働くための魅力ある雇用

一、バイオマス発電など事例を参考にした林業の活性化

一、農作物の鳥獣被害について効果的で実行可能な対策

一、左沢高の存続に向けた支援強化

これは、昨年11月に町内4カ所で「町民と議員との対話のついでに」を開催し、町民の意見を町政に届け、行政運営のさらなる充実につなげてほしいと提言書を提出しました。

議長は「内容を精読して、実現できる項目があるか検討したい」と話しました。

雇用創出など7分野を議会が提言する

## 西村山広域行政事務組合議会 平成26年第3回臨時会

平成26年12月18日、第3回臨時会が寒河江市議会議事堂で開催され、山形県人事委員会勧告に準じた本組合職員の給与を改定するため、平成26年度西村山広域行政事務組合一般会計補正予算及びクリーンセンター、斎場特別会計補正予算、西村山広域行政事務組合一般職の給与に関する条例の一部改正が審議され、可決されました。

## 全員協議会

平成27年2月13日に寒河江市議会議事堂にて、平成27年度～29年度事業計画概要などの報告がありました。

## 平成27年度西村山広域行政事務組合事業計画

一般会計では、明鏡荘の暖房施設設備と霊堂改修工事、消防の河北分署庁舎屋根改修工事、河北、朝日分署ホース乾燥柱取付工事など。

### クリーンセンター・斎場特別会計

では、し尿処理施設下水道放流改造工事、斎場空調施設改修工事、最終処分場建設工事を行う予定。

一般会計、クリーンセンター斎場特別会計を合わせた大江町の平成27年度の分担金は、昨年度より4・6%増の2億3千113万7千円となる見込みです。

### し尿処理施設下水道放流改造工事に伴う建設費及び処理経費について

平成25年度より建設費及び運営費の見直しを行った案の説明がありました。

### 不燃物埋立の状況等について

平成27年度から、電話機、デジタルカメラ等のリサイクルを推進する小型家電リサイクル法に伴う取組みを実施し、処理困難物の処分方法を見直しするなど埋立物の減量を図り、将来は粗大ごみ処理施設更新などでリサイクル等を更に推進する。また、ハッピーマンデー等で祝日となった月曜日の燃やせるごみの収集を計画している等の説明がありました。

## 西村山広域行政事務組合議会 平成27年第1回定例会

平成27年3月26日、寒河江市議会議事堂にて、平成27年度西村山広域行政事務組合一般会計予算及びクリーンセンター、斎場特別会計予算、交通災害共済特別会計予算、平成26年度クリーンセンター、斎場特別会計補正予算（第3号）、条例改正の8議案が審議され、可決しました。

### 平成27年度一般会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ12億7千927万円となり、前年度当初予算と比較して3千864万円の増額となりました。歳入の主を占める分担金及び負担金は、12億2千354万円となります。

#### ◆◆主な歳出◆◆

**議会費** 150万円

**総務費** 6千140万円  
(管理経費、広域圏計画推進費)

**民生費** 2億3千117万円

(老人ホーム明鏡荘指定管理料と工事請負費等)

**消防費** 9億4千6万円  
(消防、救急に係る業務経費)

**公債費** 4千413万円  
(組合債の元利償還金など)

### クリーンセンター、斎場特別会計

予算の総額は、歳入歳出それぞれ10億2千616万円で、前年度当初予算と比較して、5億7千536万円の減額となりました。歳入では、分担金及び負担金が6億1千16万円、使用料及びごみ処理等の手数料が2億1千344万円、組合債は1億7千円となります。

#### ◆◆主な歳出◆◆

**総務費** 2億8千917万円  
(一般管理費及び財産管理費)

**事業費** 6億3千182万円  
(し尿収集処理経費、ごみ処理経費、斎場運営経費、最終処分場整備費)



## 議会広報常任委員会 行政調査

調査日 平成27年1月27日(火)～  
28日(水)

場所 埼玉県寄居町

目的 ○議会広報の充実について  
調査概要

寄居町は、埼玉県の北西部に位置する人口約3万4千人(平成26年12月1日現在)の町で、寄居町議会だより編集委員会は6人の委員で構成されています。議会閉会后2ヶ月を目途に発行。編集作業は3日間(うち1回は定例会開催前)で、印刷会社の担当職員もパソコン、プロジェクター持参で加わり、デザインとレイアウトをその場で同時に行う編集作業をしているとのことでした。当議会でも、段階的に印刷業者の技術を活用して、新たな議会だよりを築いていく必要があると考えます。

本会議の一般質問や討論の終了後、発言議員が質問、答弁を要約した原稿を定例会終了後に事務局に提出していることは、隣接する朝日町、西川町、昨年調査に訪れた宮城県丸森町議会同様に実施しており、編集作業の効率化の上でも、当議会にも早く根付かせるべ

所感  
きだと強く感じました。

町民に手に取って読んでいただくことを重点目標とし、表紙の写真の現在のテーマを「よりのえがお」と題し、町民の笑顔を題材に、読者に興味を持たせています。表紙のタイトルも、ただ単に「寄居町議会だより」ではなく、「お元気ですか寄居町議会です」とし、町民に声をかけているような気配のあるタイトルは見習うべきと感じました。

さらに、一般質問や議場での質疑応答の顔写真は議場内で撮影し生の迫力があるものとなっております。当議会でも撮影を許可し、議場での活動を町民に知っていただくことが必要と考えます。



寄居町議会広報委員の皆さんと

## 議会運営委員会 行政調査

調査日 平成27年2月12日(木)

場所 金山町【最上郡】

目的 ○議会審議運営について  
○議会活性化の取り組み  
調査概要

金山町は山形県の北東部に位置し、町域の4分の3を森林が占め、金山杉の産地として名高い町です。大正14年(1925)1月1日町制を施行して以来90年間、昭和の大合併・平成の大合併の流れに加わらなかったことを町の誇りとしています。人口は、平成26年12月1日現在で5千956人。

議員数は10名で、議員が少ないことから、議会運営委員会は全員出席のもとに開催しているとのことでした。

一般質問の持ち時間は、本町と同じ1時間ですが、町長が執行者所見を答弁したのちに担当課長が詳細部分の答弁を行う仕組みとなっております。1定例会の平均質問者数は4・25人、約半数の議員が一般質問を行っています。

平成23年6月に議会活性化特別委員会を立ち上げ、町民アンケートの実施のほか各地で議会報告会

を行い、町民の声を集約し町政に反映させています。また、4年間で34回の特別委員会を開催し、2月中に議会活性化特別委員会報告書を提出することでした。



金山町議場

所感

平成26年4月1日に「金山議会基本条例」を制定し、それに従って議会活動を行っているのは素晴らしいことだと感じてきました。議会と議員の活動、町民と議会との関係、議会報告会、議会広報の充実、行政と議会との関係など「開かれた議会」として、多くの町民から、議会が変化し議員の活動が見えるようになったと評価を得ており、当議会としても大いに学ばなければならぬと深く認識してきました。

# 大江・西川両町 道路整備促進期成同盟会

## 県知事へ要望

2月10日（火）の西庁舎要望会において、会長の小川西川町長より川越地域振興監へ、副会長の渡邊大江町長より志田次長へ要望書が手渡されました（併せて、村山総合支庁長及び建設部長あてにも要望書提出）。県知事要望会では、知事不在のため、上坂県土整備部長へ要望書を提出しました。

### 1. 主要地方道大江西川線道路整備促進について

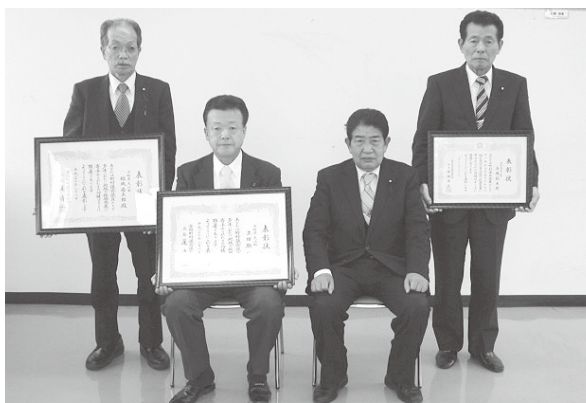
- (1) 貫見〜沢口間の早期完成
- (2) 田ノ沢〜大井沢トンネル間の道路改良の早期着手
- (3) 大井沢地内の雪崩防止対策の早期着工

### 2. 主要地方道貫見間沢線の道路整備促進について

大江・西川両町の発展には欠かすことのできない重要な路線であり、早期の事業完成を要望。

# 山形県町村議会議長会 第66回定期総会

2月17日（火）山形市の県自治会館において開催され、会務報告のほか、地域住民の代表である議会人として、地方自治の確立に全力で取り組むことを決議しました。また席上、全国町村議会議長会自治功労者として、議員在職15年以上で小野祐一議員、土田勸一議員、結城岩太郎議員の3名が表彰され、山形県町村議会議長会自治功労者として、議員在職11年以上で古城紀夫議員が表彰されました。



表彰された皆さん

# 議会の動き (平成27年1月〜4月)

## 1月

5日 議会広報常任委員会

21日 議会活性化検討特別委員会

26日 全員協議会

『町政に対する提言書』提出

27日 議会広報常任委員会行政調査

(埼玉県寄居町/28日まで)

## 2月

9日 議会活性化検討特別委員会

10日 県知事要望会(西川町合同)

12日 議会運営委員会

議会運営委員会行政調査(金山町)

17日 県町村議会議長会定期総会(山形市自治会館)

23日 全員協議会

議会活性化検討特別委員会

24日 議会広報常任委員会

議会運営委員会

## 3月

4日 第1回定例会(13日まで)

16日 議会広報常任委員会

24日 議会広報常任委員会

31日 議会広報常任委員会

## 4月

10日 議会広報常任委員会

15日 総務文教常任委員会協議会

産業厚生常任委員会協議会

16日 議会運営委員会

17日 議会広報常任委員会

24日 議会広報常任委員会

次回定例会は、6月開催予定です。ぜひ傍聴においでください。また、大江町のホームページで、議会の様子をライブや録画で見ることが出来ます。





五十嵐 華奈  
(富沢)

雪のない兵庫県から、無農薬・減農薬に取り組む果樹農家の嫁にきて7年目になります。

現在、父、母、主人と4歳、2歳、1歳の息子たちと賑やかに暮らしています。

子どもを産み農業を通して思うことは、なぜ原発を廃止できないのかということ。

原子力発電によって排出される放射能排気物質を無害化する技術がないのにもかかわらず、地中に深い穴を掘って管理している現状です。

地震大国の日本において半減期が数万年もある核を人間の手によって作り出し、地中に埋めるなどシステム上、破綻していると思います。

本来に原発がなくとも電力は賄えるのに、廃止されない理由はどこにあるのか。

そのような話題はメディアでは報道されず、国にとって不利な情報は大概、隠ぺいされます。

本当に、このままで子どもたちに明るい未来は訪れるのでしょうか。



すももの摘蕾作業てきらいに取り組む

少なくとも、私たちにできることは、意識することだと思っています。  
知りたい時は自ら調べ、考え行動に移す。  
大切なものを守るのは自分自身であり、1人の行動力だと思っています。

編集後記

いつもは殺風景な議場ですが、今回の定例会では、つぼみの啓翁桜が飾られておりました。

10日間の日程で、最終日には満開になり、緊張感のなかに一つの「うるおい」があったことは心のひろがりやと安定につながると感じました。

日程が進むにつれて議論も活発になり、最終日の議員定数の件では白熱した議論が交わされました。ただ、この件に関しては論点を深く掘りさげ、時には視点を換え、研究をし、時間をかけて全議員で議論することが必要ではなかったかと思えます。町の今年度予算が成立しました。「町を明るく良くしたい」という思いは、議員共通の認識であります。いかにして町民のみな様方と共に歩んでいけるかがこれからの課題ではないでしょうか。

(記・菊地 勝秀)

【発行責任者】

◆議長 小野 祐一

【大江町議会広報常任委員会】

◆委員長 安食 幸治

◆副委員長 宇津江雅人

◆委員 菊地 勝秀

◆委員 古城 紀夫